

様式1【音楽・小6・「思いを生かした表現のみりよくを感じ取ろう」】①

育成を目指す資質・能力

【知識及び技能】

交響曲第5番「運命」第1楽章の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

旋律や速度、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。

【学びに向かう力、人間性等】

作曲家や演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。

ICT活用のポイント

これまでの一斉指導に代わり、自分の気に入った演奏を自分のペースで鑑賞する「個別最適な学び」を取り入れることができる。

【つかむ】

交響曲第5番 第1楽章を鑑賞し、曲想と音色、リズム、強弱などとの関わりについて理解する。

【追求する】

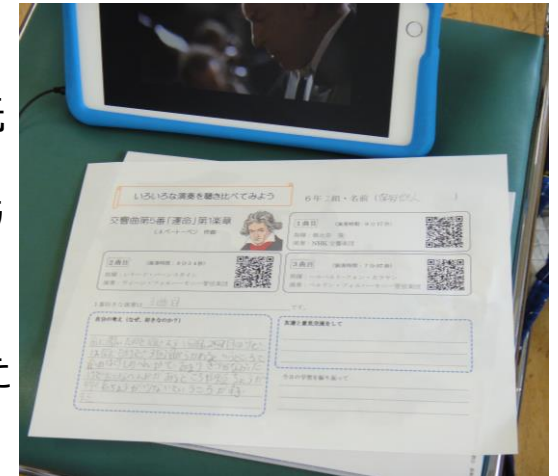
3つの演奏のそれぞれの特徴を捉え、自分が選んだ演奏をICT端末でじっくり聴き深める。

【まとめる】

友達と考えを交流し、演奏のよさを多面的に見だし、演奏者による表現の違いを味わう。

事例の概要

- 第1楽章の冒頭部分を、3つの異なる指揮者・オーケストラによる演奏で比較鑑賞し、速度、強弱、フェルマータなどをよりどころとしてそれぞれの特徴を捉え、学級全体で共有する。
- 3つの演奏をクラウド上の共有ドライブに保存し、ワークシートにそれぞれの二次元コードを貼り付けておく。児童は、自分が気に入った演奏を選び、タブレットのカメラで読み取り、鑑賞（視聴）する。
- 気になるところを繰り返し聴いて確認したり、他の演奏と比較したりしながら、選んだ演奏のよさについて考える。



【音楽・小6・「思いを生かした表現のみりよくを感じ取ろう」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面②】



○本事例における学習過程とICT活用の場面との関係

- ・【追求する】場面において、クラウド上の共有ドライブに保存された3つの演奏から自分が気に入った演奏を選び、ICT端末で鑑賞（視聴）する。気になるところを繰り返し聴いたり、他の演奏と比較したりしながら、選んだ演奏のよさについて考える。

【ICT活用の場面①】（個別学習）

- ・同じ演奏を選んだ友達同士で集まり、それぞれが感じた演奏のよさを発表し合い、共有・共感する。

【ICT活用の場面②】（協働学習）

○ICTを効果的に活用するためのポイント

- ・二次元コードをカメラで読み取ることで、すぐに演奏を視聴することができる。
- ・一人一人が自分のイヤフォンを用意することで、集中して鑑賞することができる。
- ・著作権の観点から、授業以外での視聴を控えるように周知したり、題材終了後は速やかにドライブ上から削除したりするなど、配慮が必要である。

○児童や教師にとってのICT活用のメリット

- ・一人一人のペースや興味に合わせて、再生、一時停止、早送りなどができる。
- ・教師にとっては、他の児童の鑑賞活動を妨げることなく、一人一人への支援や声かけが可能となる。